

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
神谷正男	動物・ヒト共通感染症の実際 3) エキノコックス症	感染と抗菌薬	5	362-366	2002
神谷晴夫	我が国におけるエキノコックス症の現状と対策—特に動物の側から考察して—	宮城県獣医師会会報	54	5-10	2002
高橋健一、浦口宏二、Thomas ROMIG、畠山英樹、田村正秀	キツネ用駆虫薬入りベイトを用いたエキノコックス症感染源対策法の検討	北海道衛生研究所報	52	61-63	2002
Ohga, Y., Ishikawa, H., Doi, R. and Ishii, H.	Simulations on prevalence of <i>Echinococcus multilocularis</i> in Hokkaido on the basis of vole population dynamics	J. Fac. Environ. Sci. Tech. Okayama U.	7	1-5	2002
伝法公麿	新しい局面を迎えたエキノコックス症予防	全栄施協月報	504	7-28	2002
神谷晴夫	寄生虫は如何にしてその分布を広げるのか?—エキノコックスの伝播・流行を考慮して—	生態学・疫学談話会ニュース	15	2-5	2002
佐藤直樹、中川隆公、神山俊哉、松下道明、藤堂省	多包性エキノコックス症の職業、病態、診断と治療	日本胸部臨床	61	1058-1065	2002
神谷正男	エキノコックス症	化学療法の領域	19	64-69	2003
佐藤直樹、小笠原和弘、神山俊哉、松下道明、藤堂省	エキノコックス症、多包性エキノコックス (alveolar echinococcosis) を中心に	日本臨床 増刊号 2	61	636-643	2003
二瓶直子	感染症の拡大を予測する	地理	48	74-83	2003
神谷晴夫	最近注目される人獣共通寄生虫症 (上) エキノコックス症	日本医事新報	4112	33-36	2003
土井陸雄	キノコックス	自然保護	472	34	2003
土井陸雄、松田肇、内田明彦、神田栄次、神谷晴夫、紺野圭太、玉城英彦、野中成晃、奥祐三郎、神谷正男	北海道および海外からの畜犬を介するエキノコックス本州侵入の可能性	日本公衆衛生雑誌	50	印刷中	2003
土井陸雄、伊藤亮、山崎浩、森嶋康之	単包虫症-わが国における発生動向と対策	日本公衆衛生雑誌		投稿中	
Ishikawa H, Ohga Y and Doi R	A model for the transmission of <i>Echinococcus multilocularis</i> in Hokkaido, Japan.	J Fac Environ Sci Tech Okayama U		投稿中	

20020613

以降は雑誌/図書に掲載された論文となりますので、
P.91－P.92の「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。